

序 章

【雫石町地域づくり計画】

地域づくり計画は、地域住民が地域の課題解決のために自ら実践すべき取り組みのメニューを盛り込んだ計画です。

1. 地域づくり計画の趣旨

近年、「人口減少問題」が大きく注目され、全国の約半数の自治体が「消滅可能性都市」に該当するというショッキングな報道があり、本町の人口も、2000年の19,750人をピークに減少を続けており、このまま対策を講じなければ2040年には11,300人(ピーク時の約57%)まで減少すると見込まれています。

人口の減少や高齢化に伴い、集落・地域から食料品や日用品などの生活必需品を扱う商店や診療所などが姿を消し、日常生活に必要なサービスを受けることが難しくなるなど、暮らしを維持していくことが危うくなってきており、立ち向かう手立てを早急に打つ必要があります。

雫石町の人口減少の主な要因の一つは、高卒世代の転出です。その転出に歯止めをかけるためには、町から通える範囲での勤め先を確保することも重要ですが、雫石町を若者が残りたいと思える地元“ふるさと”にすることも大切なことです。

また、これまでの行政区や地域コミュニティの枠を超えた、あるいはPTAや老人クラブ、民生児童委員やスクールガードなど様々な団体の活動の枠を超えた「地域で支え合う力」を強化することが一層重要となってきます。

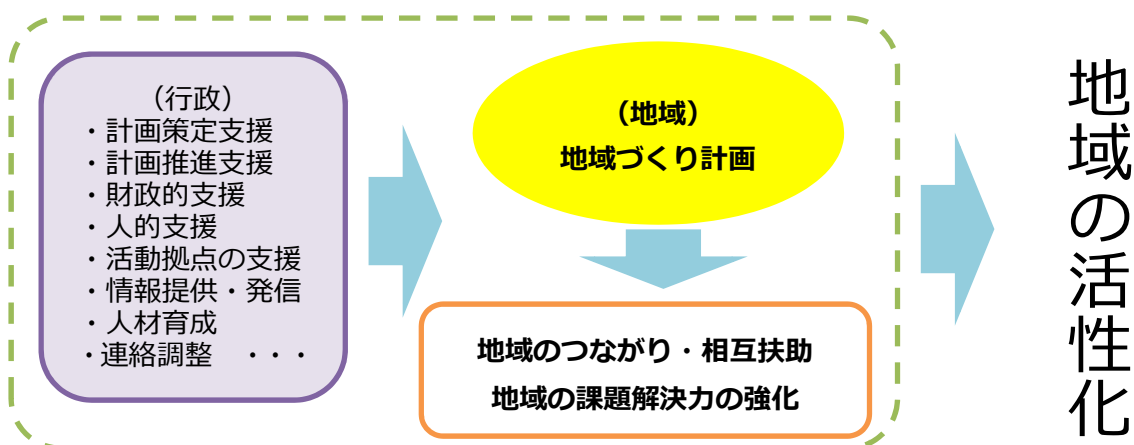
人口減少に負けない地域をつくるため、雫石・御所・御明神・西山の4地区別に、コミュニティ組織、PTA、民生児童委員、消防団員、そのほか一般住民の皆さんで構成する「地域づくり会議」を地区ごとに開催し、地域で出来ることを検討しました。

4地区別「地域づくり計画」は、地域の将来像を定め、地域の魅力を活かし、地域の課題を解決するために、地域の住民が協力して実践できることを盛り込んだ計画です。

2. 地域づくり計画の位置づけ

(1) 地域づくり計画の位置づけ

地区別地域づくり計画は、地域で実践すべき取り組みのメニューを盛り込んだ計画です。行政への要望をまとめたものではなく、あくまでも地域が主体的に取り組むべき事業を示したものです。



（２）計画の構成と期間

この地域づくり計画は、地域の魅力を活かしてその達成及び課題解決のために自ら出来る方策をテーマ別にまとめたもので、計画期間は、平成 28 年度から平成 31 年度までの 4 年間です。

なお、地域づくり計画に掲げた活動メニューを実行するため、優先順位、実現可能性、実施主体、予算など、「地域づくり会議」などでの検討・協議を行いながら、具体的な事業などを「実施計画」としてまとめ、取り組みを進めていきます。

（３）計画の内容

計画の記載事項は、地域の将来像のほか、人口の予測、地域の特性と現状、地域の強みと弱み、解決したい課題、活動メニューとなっています。これらの内容や表現方法は、地域の特色や自主性を尊重する計画であることから、自由な発想を取り入れており、地域の想いが込められています。

I 地区の将来像	現在の子どもたちが大人になる 20 年後に、地元に戻りたくなる地域の将来像についてキャッチフレーズとしてまとめています。
II 人口の予測	平成 27 年度に雫石町が策定した「人口ビジョン」から引用し、地区ごとの人口推移、高齢化率の推移のグラフを掲載しています。
III 地域の特性と現状	地域の実情を客観的に整理するとともに、地域づくり会議で行った「地域点検」（地域の現状を見て回り、お宝を探すとともに、その改善活用策を検討する）の結果を加味しました。
IV 地域の強みと弱み	地域づくり会議での「夢語り」（地域の将来像を語り合い、その実現のために必要な取り組みを検討）での意見をもとに整理しました。
V 解決したい課題	地域づくり会議での「夢語り」と「実践メニュー」（自分たちで取り組む実践メニューを絞り込む）の意見をもとに整理しました。
VI 活動メニュー	地域づくり会議で出された意見のうち、「地域にとって非常に重要」かつ「頑張ればできる」活動メニューを中心にテーマに分けて分類しました。

3. 計画の推進体制

（１）地域づくり会議

「地域づくり計画」を策定した組織であり、引き続きその実行に当たります。今後、計画に盛り込まれた活動メニューの実践に向けてアクションプラン（実施計画）を作り、実施体制を検討するほか、計画の進行管理を担います。構成員は、4 地区における地域コミュニティ組織、PTA、民生児童委員、消防団員、NPO、一般町民など、地域から幅広い参画を得ながら開催します。

※各種団体の上部組織ではなく、構成員によるゆるやかな繋がりをもつ「円卓会議」のような組織です。

（２）計画の実施主体

計画の実施主体は、「地域づくり計画」に掲げられた活動メニューに応じて、活動に関係する組織や地区の住民等が連携し、役割分担を明確にしながら、「運営組織」を形成して実行します。

（３）町の支援体制

「地域づくり会議」の運営や「地域づくり計画」の推進に係る支援を行います。

4. 地域づくり計画策定経過（地域づくり会議の開催）

「地域づくり会議」とは？

「地域づくり会議」とは、住民の皆さんの想いや知識、経験を地域の「宝」として共有し、地域の将来像について本音で話し合う会議のことです。会議は、雫石、御所、御明神、西山の4地区ごとに開催しており、参加者は、コミュニティ組織、PTA、民生児童委員、消防団員、そのほか一般市民などさまざまな地域の人達です。各地区36人以上、20～80代の男女約150人に参加していただいています。

会議は、NPO法人いわて地域づくり支援センターのサポートを受けながら、各地区で地域点検1回、ワークショップ3回を行い、地域の将来像と実現のための活動メニューをまとめた「地域づくり計画」を策定しました。

なお、「ワークショップ」とは、まちづくり分野においては、参加者が共に討議したり、現場を見たりするなどの協働作業を通じて、お互いの考えや立場の違いなどを学びながら、まちづくりの提案などをまとめる手法や場のことをいいます。

■第1回（雫石：8/1、御所：6/27、御明神 7/4、西山：7/25・8/1・8/19）

地 域 点 検

地域の現状をみんなで見て回り、お宝を探すとともに、その改善活用策を検討する。（各地区6グループ編成）



グループごとにまちあるきの出発前に地図をみながらコースの打ち合わせをします。



良いところや悪いところをみんなで点検し、地域住民から話を聞いたりもしました。

【チェックのポイント】

①良いところ

景色や雰囲気が良い、歴史がある、自慢したい、珍しい、懐かしいところなど

②直したいところ

問題があるところ、改善したいところなど



まちあるきでの点検結果をまとめ、その活用策や改善策を話し合い、「地域マップ」を作成しました。



グループごとに作成した「地域マップ」にタイトルやキャッチフレーズを付け、発表してみんなで共有しました。



■第2回（雫石：8/28、御所：8/24、御明神8/21、西山8/25）

夢語りワークショップ

地域の将来像を語り合い、その実現のために必要な取り組みを検討する。



「20年後、地域の子供が大人になり、地域で家庭をもつ」その時に、どんな地域になっていてほしいか、将来像を語り合いました。

グループごとに将来像を描き、そのためにどんなことができるのか考え、発表しました。

【夢語りのポイント】

- ①こんな地域になったらいいな
- ②この地域の好きなところ（残っていてほしいもの）
- ③みんなでやってみたいこと
- ④将来を考えると不安なこと、困ること（変わってほしいこと）



■第3回（雫石：9/28、御所：9/24、御明神：9/25、西山 10/2、全地区追加 10/28）

実践活動の検討ワークショップ

自分たちで取り組む実践メニューを絞り込む。



第1回の地域点検、第2回の夢語りで出された地区の「夢」の実現に向けて、地域として取り組める実践活動を検討しました。

地域でどんなことができるか、テーマ別に『重要度』と『実現可能性』により評価し、「夢の実現にとって非常に重要で、かつ、ちょっと頑張れば実現できる」活動について、誰が実行するかまで話し合いました。



■第4回（雫石：12/14、御所：12/17、御明神：12/8、西山：12/15）

計画作成ワークショップ

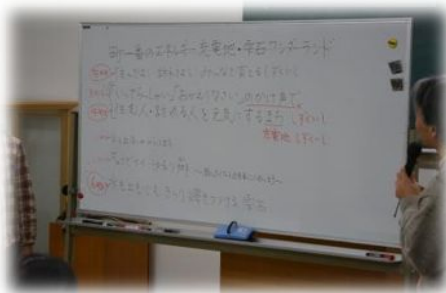
地域の将来像、現状と課題、地域づくりプラン（取り組みの方向性）をまとめる。



「地域づくり計画」たたき台を見ながら、加筆修正が必要な個所、気になったところなどをチェックしました。

【チェックのポイント】

- ①みんなでやりたい、みんなで出来ると思うメニューになっているか。
- ②無理せず5年程度で出来ることになっているか。



地区の目指すべき将来像（キャッチフレーズ）について、複数案から絞り込みをしました。

■第5回（全地区対象：2/20（土）14：30～17：00）

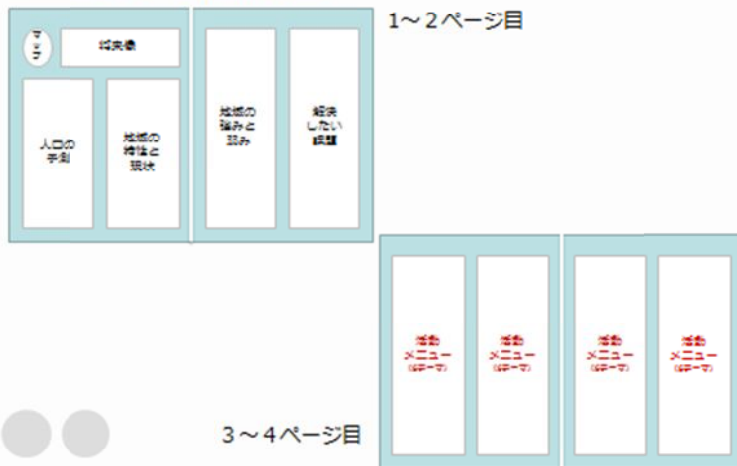
地域づくり計画発表会

これまでの活動経過と成果（地域づくり計画）を発表する。

5. 計画の成り立ち

地域づくり計画のつくり方

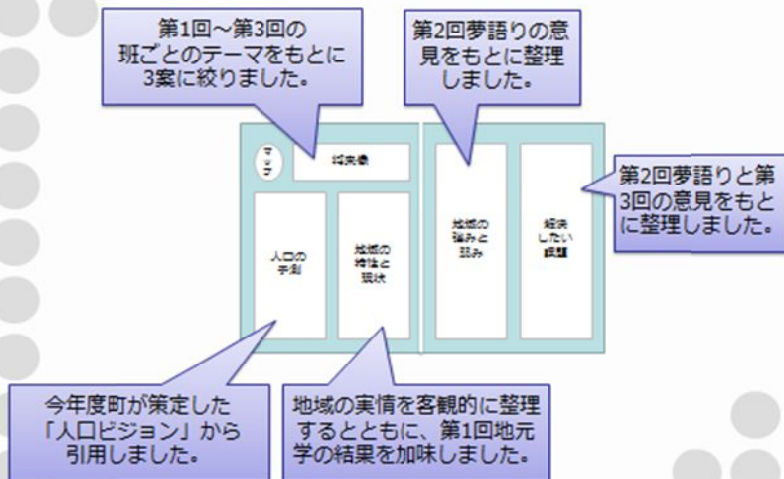
● 地域づくり計画の構成



地域づくり計画は、全地区同じ形式で作成しています。

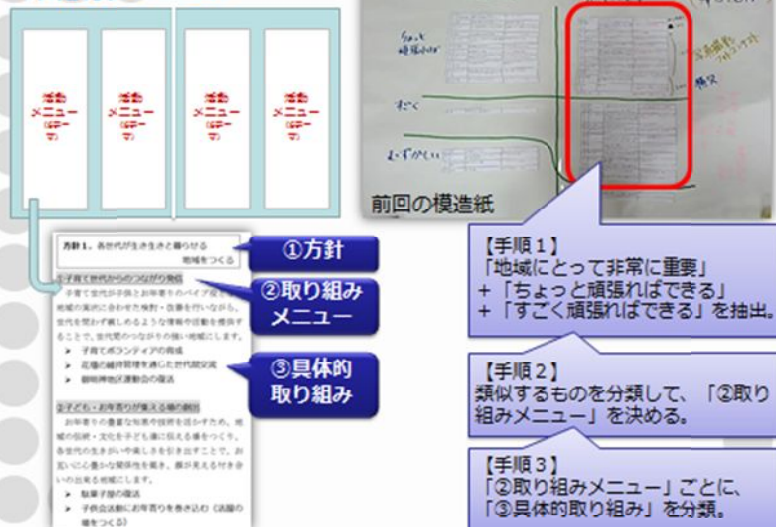
- I 地区の将来像
- II 人口の予測
- III 地域の特性と現状
- IV 地域の強みと弱み
- V 解決したい課題
- VI 活動メニュー

各項目のつくり方



各項目とも、4地区別に行われた地域づくり会議での地域点検やワークショップの話し合いで出された意見を基に整理しました。

活動メニュー



活動メニューは、地域づくり会議で出された意見のうち、「地域にとって非常に重要」かつ「頑張ればできる」活動メニューを中心にテーマに分けて分類しています。

- ①方針はテーマごとの目標を表しています。
- ②取組メニューはテーマに基づく活動を目的別に区分しています。
- ③具体的取り組みは、テーマ別に掲げた目標を実現するための手段として考えられた活動を記載しています。